

令和8年7月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和8年7月分について、輸出は「ポンプ及び遠心分離機」、「荷役機械」などが減少したものの、「電気計測機器」、「半導体等電子部品」、「半導体等製造装置」などが増加したことから対前年同月比38.5%の増加となった。また、輸入は「自動車の部分品」、「加熱用・冷却用機器」などが減少したものの、「原動機」、「記録媒体〔含記録済〕」などが増加したことから、同31.9%の増加となった。
その結果、差引額は330億円の輸入超過となった。

区 分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差 引 額（▲は輸入超過）	伸 率
中部 空港	1,685億円	+38.5%	2,015億円	+31.9%	▲330億円	+6.0%
	12ヵ月連続の増加		38ヵ月連続の増加			

			概 況 品 名	金 額	伸 率				概 況 品 名	金 額	伸 率
輸 出	増加品目	(1)	電気計測機器	94億円	+127.2%	輸 入	増加品目	(1)	原動機	412億円	+61.2%
		(2)	半導体等電子部品	189億円	+37.5%			(2)	記録媒体〔含記録済〕	71億円	16倍
		(3)	半導体等製造装置	64億円	+137.8%			(3)	半導体等電子部品	263億円	+30.8%
	減少品目	(1)	ポンプ及び遠心分離機	11億円	▲20.9%		減少品目	(1)	自動車の部分品	18億円	▲42.1%
		(2)	荷役機械	5億円	▲20.5%			(2)	加熱用・冷却用機器	11億円	▲32.1%
		(3)	二輪自動車類	1億円	▲48.3%			(3)	家具	6億円	▲44.3%
	主要地域増減		アジア、EU、アメリカが増加				主要地域増減		アジア、アメリカが増加、EUは減少		

（参考）ドルレートは、161.83円（前年同月比11.2%、16.27円の円安）であった。
注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。
注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。